

兵庫県リーダー講習会開かれる

日本協会技術委員 藤田一郎氏が神来

59年度兵庫県リーダー養成講習会は、11月11日から12月16日までの土曜・日曜・祭日を利用して、のべ53時間、御影工業高校を中心に行われた。

講師には、岡村敬技術委員長、高橋敏雄審判委員長、ほか市内のJ.F.A. 公認コーチが当たり、講習内容は、サッカー理論、サッカー実技指導法ならびに指導実習にいたるまで多岐にわたった。

日頃は教える立場である受講生たちも、今回の講習会では、指導される立場。最初はやさしく不安感もあったが、終了式では受講生のチームワークも最高、なごやかなうちに閉講した。

なお、終了テストには、日本サッカー協会技術委員の藤田一郎氏が来られ、「今回の兵庫県の受講生のレベルは高い」と感想を述べられた。

受講生の今後の後進の指導を望むとともに神戸から心身ともにすぐれた選手が育つことを期待したい。

合格者は次の通り

1. 芦谷 進 (明石商高・教員)
2. 石川 靖彦 (桜が丘中・教員)
3. 大村 昭洋 (兵庫教育・大学院生)
4. 鍵野 剛一 (長田高・教員)
5. 川並 浩司 (塩屋市・教員)
6. 神田 豊秀 (神戸弘陵高・教員)
7. 神原 吾朗 (尼崎産業高・教員)
8. 北川 強 (神吉中・教員)
9. 久保 正夫 (三菱重工神戸・会社員)
10. 小坂 芳樹 (御影工高・教員)
11. 清水 万帆 (神戸F.C.レディーズ)
12. 谷口 忠男 (鷹匠中・教員)

13. 白石 典之 (西脇工高・教員)
14. 塚本 元恭 (高丘中・教員)
15. 天王寺谷慶吾 (神戸市役所・公務員)
16. 浜田 明彦 (北五葉F.C.・教員)
17. 藤井 強 (小野スポーツ少年団・公務員)
18. 藤原 広典 (加古川北高・教員)
19. 真多 英博 (甲陵中・教員)
20. 松岡 泰典 (三菱重工神戸・会社員)
21. 村松 明雄 (布引中・教員)
22. 本倉 伸一 (八代学院高・教員)
23. 森井比佐志 (市芦屋高・教員)
24. 大和 徹 (三菱重工神戸・会社員)
25. 山本 伸吾 (尼崎工高・教員)

◇ 講義 () は講師名 敬称略

- ・コーチング法(4) (一北・黒田)
- ・作戦と戦術(4) (森田・加藤)
- ・スポーツ論(1) (五島)
- ・救急法(2) (田中)
- ・心理学(2) (岡本)
- ・組織と運営 (五島)
- ・生理学 (佃)

・栄養学とコンディショニング (佃)

- ・トレーニング法 (森田)
- ・体力トレーニング法 (森田)

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

28. 坂東真実子 (YMCA)
29. 坂東 裕子 (夢野SC)
30. 姫野 俊幸 (夢野SC)
31. 藤田 健二 (みさきFC)
32. 古宮 重信 (高倉台)
33. 前垣 知史 (春野小学校)
34. 松島 郁子 (YMCA)
35. 松田 純一 (西宮少年SS)
36. 松永 剛信 (神陵台SC)
37. 森川 和俊 (蓮池SC)
38. 八巻 貴裕 (伊川谷高)
39. 山崎 哲浩 (夢野SC)
40. 鷲尾 靖江 (つつじが丘)

◇ 講義 () は講師名

- ・サッカーの歴史と用語
- ・神戸の少年サッカー (一北)
- ・少年の指導法 (岡本・黒田・瀬川)
- ・戦術と作戦 (森田・加藤)

◇実技

- ・ボールコントロール
- ・スモールゲーム

なお、実技指導には、大和川、八木、岡本、瀬川、森田、岡の各氏が担当した。

サッカーに関する図書、紹介

ブラジルに、こんな諺があります。

「水をやりすぎた木は枯れる。

砂漠に草木は育ちません。砂漠に木を植えて緑化をはかる計画は、あちこちで試みられているようですが、水の少ない砂漠で草木を育てることは、なかなか困難な仕事です。

畑の野菜も、日照りが続くと枯れてしまいます。作物の出来が悪いと、野菜が値上がりして、すぐ台所に響いてきます。

植物にとって、水は絶対に欠かせないものですが、この水を余分にやっても、根がくさって枯れてしまうのです。

いまの日本の子供たちには、余分に水をあげていると思います。……………

- ・「セルジオ越後のさわやかサッカーしつけ語録」(オーエス出版社)より

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

なお、実技には、八木、瀬川、大和川、志賀、阿部各氏が担当した。

◇指導実習

- ・少年の指導 ・中学生の指導 ・高校生の指導

◇実技

- ・体力 ・技術 ・戦術 ・ゲーム

1984 12月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円



ユ-ハイム

神戸のサッカー

59年度市少年リーグ

全日程を終了、多井畑全部門で大活躍

千歳、ひよとり台、神戸F.C.なども健闘

春に開幕した神戸市少年サッカーリーグが、1月20日、2部、4部の決勝戦を神戸総合運動公園で行い、全日程を終了参加37団体、170チーム、昨年度に比べ2団体14チーム増加のマンモス超ロングリーグ1046試合に熱戦が繰り広げられた。

【評】

男子一部 (小6以下上級、36チーム) は、12月30日、神戸中央球技場で、千歳Aクラブが、多井畑サッカースポーツ少年団を3対2で破り、2年連続優勝を飾った。3位は、ひよとり台を3対1で破った神戸F.C.となった。初のベスト8に、西神戸朝鮮とライオンズ杯県大会を制した東舞子が入った。

2部 (小6以下初級、50チーム) はリーグ登録2年目の東神戸朝鮮が、ねばる千歳を4対2で破り、初優勝を遂げた。3位に多井畑4位に木津が入賞した。

3部 (小4以下、53チーム) は、西地区同士の対戦となり多井畑が高倉台を3対0で破り2年ぶり3度目の優勝を果たした。3位に神戸F.C.、4位千歳となった。

4部 (女子小6以下、27チーム) はライオンズ杯決勝と同じカードとなったが、ひよとり台が福住を3対1で降し初優勝を飾った。3位決定戦は、木津が0対0の末、PK戦3対2で多井畑を破った。

5部 (小4以下、10チーム) は、全市総当りで多井畑が74得点、失点2と今年も独走優勝を果し記録を5に伸ばした。2位には高倉台3位に木津が入った。

全部門にわたり上位入賞する健闘を見せた多井畑、リーグ戦に新風を巻き込んだ千歳、さらにひよとり台、神戸F.C.の活躍等が上げられる。

一部のベスト8に、北地区のチームがないのがさびしい。来年の奮起を期待したい。

今年のリーグ運営は、試合日が好天気に恵まれたのと、御崎少年サッカー場に加えてユ-ハイムグラウンドがフルに使用、極めて円滑な運営を行うことが出来た。



▲5部、圧倒的な強さを見せ、見事優勝を果たした多井畑Cイレブン



一部優勝を見事果たした千歳Aイレブン (12月30日、神戸中央)

昭和59年度 神戸市少年リーグ最終順位結果

【1部】											
1位	千歳A	11位	木津A	21位	虹っ子A	31位	八多A				
2位	多井畑A	12位	福住A	22位	鴻が森A	32位	有瀬A				
3位	K F C A	13位	鈴蘭台A	23位	蓮池A	33位	鶴越C C				
4位	ひよ台A	14位	桜の宮A	24位	K F C C	34位	塩屋A				
5位	東灘A	15位	北須磨A	25位	北五葉A	35位	福住C				
6位	成徳A	16位	有野A	26位	夢野A	36位	東灘B				
7位	西朝鮮A	17位	みさきA	27位	鶴越A						
8位	東舞子A	18位	つつじA	28位	新多聞A						
9位	高倉台A	19位	神陵台A	29位	若草A						
10位	蓮池A	20位	多井畑C	30位	雲中A						
【2部】											
1位	東朝鮮A	11位	ひよ台D	21位	鈴蘭台B	31位	神陵台B	41位	鈴蘭台D		
2位	千歳B	12位	KYI FCA	22位	成徳B	32位	K S S A	42位	新多聞B		
3位	多井畑B	13位	桜の宮B	23位	神陵台C	33位	泉台A	43位	K F C D		
4位	木津C	14位	東舞子C	24位	鶴越B	34位	北須磨B	44位	有瀬B		
5位	多井畑D	15位	高倉台B	25位	箕谷A	35位	ひよ台B	45位	若草B		
6位	高倉台C	16位	西朝鮮B	26位	北五葉B	36位	ひよ台C	46位	北須磨C		
7位	千歳C	17位	みさきB	27位	つつじB	37位	八多B	47位	ひよ台E		
8位	鈴蘭台C	18位	虹っ子B	28位	YMCA A	38位	福住B	48位	ひよ台F		
9位	木津B	19位	和田岬A	29位	桜の宮C	39位	高倉台D	49位	北五葉D		
10位	K F C B	20位	東舞子B	30位	夢野B	40位	鶴越D	50位	木津D		
【3部】											
1位	多井畑E	11位	虹っ子C	21位	東灘D	31位	みさきD	41位	蓮池C	51位	ひよ台K
2位	高倉台E	12位	有野B	22位	YMCA B	32位	桜の宮E	42位	YMCA C	52位	木津I
3位	K F C E	13位	ひよ越E	23位	桜の宮D	33位	夢野D	43位	蓮池D	53位	ひよ台J
4位	千歳D	14位	東灘C	24位	北五葉D	34位	北須磨E	44位	福住D		
5位	つつじC	15位	高倉台F	25位	多井畑F	35位	和田岬B	45位	つつじD		
6位	ひよ台G	16位	夢野C	26位	東朝鮮B	36位	千歳F	46位	ひよ台H		
7位	みさきC	17位	神陵台D	27位	多井畑G	37位	多井畑H	47位	鶴越F		
8位	木津E	18位	北須磨D	28位	ひよ台I	38位	若草C	48位	木津H		
9位	成徳C	19位	木津F	29位	木津G	39位	鈴蘭台E	49位	YMCA D		
10位	泉台B	20位	千歳E	30位	K F C F	40位	つつじE	50位	虹っ子D		
【4部】											
1位	ひよ台A	11位	ひよ台C	21位	ひよ台B	1位	多井畑C				
2位	福住A	12位	夢野A	22位	福住B	2位	高倉台C				
3位	木津A	13位	北五葉A	23位	神陵台A	3位	木津D				
4位	多井畑A	14位	高倉台B	24位	福多B	4位	ひよ台D				
5位	桜の宮A	15位	雲中A	25位	八多D	5位	夢野B				
6位	高倉台A	16位	木津B	26位	北五葉B	6位	桜の宮C				
7位	八多A	17位	蓮池A	27位	福住C	7位	若草B				
8位	鈴蘭台A	18位	箕谷A			8位	木津E				
9位	多井畑B	19位	木津C			9位	木津F				
10位	有野A	20位	桜の宮B			10位	ひよ台E				
					【5部】						

59年度兵庫県都市リーグ決勝大会 三木FC 優勝 県リーグへ

ビートルズFC・竹谷クラブ入替戦へ

兵庫県リーグ昇格をかけた、59年度県都市リーグ決勝大会は、出場を辞退した西宮を除く、県下9地域の都市リーグ代表26チームの間で行われた。

大会は10月7日より始まり、12月2日、神戸総合運動公園サブグラウンドで3位決定戦と決勝が行われた。その結果、三木FCがビートルズFC(A)を2対1で下して県リーグ自動昇格を決めた。2位ビートルズFC(A)が、県リーグ9位日本触媒姫路と、3位竹谷クラブが、県リーグ8位神戸市役所と、1月27日磯上グラウンドでそれぞれ県リーグ入替戦を行う。

決勝は県リーグ返り咲きを狙う三木FCと年々力をつけてきた神戸ビートルズFCの間で行われた。立ち上がりから、優勢にゲームを進めるビートルズに対して三木はGK今安を中心に得点を許さず、逆にビートルズの中盤での不用意な横パスをカットして先制点をあげた。しかしビートルズも前半終了間際に追いつき、勝負は後半に持ちこられた。後半一進一退の攻防の続く中、三木はビートルズの守備の乱れをつき2点目をあげ、粘るビートルズの反撃を守り切った。

59年度兵庫県都市リーグ決勝大会結果
(1次トーナメント)

【Aブロック】

(東播)神鋼加古川	1				
(神戸)川重発本	3	6			
(尼崎)武庫川同好会	2		1		
(神戸)神戸FC(A)	2		0		
(西播)姫路SC	1		3		
(北播)三木FC				4	

【Bブロック】

(丹有)鳳鳴FC	0	2			
(神戸)神戸アースナルFC	5	1			
(神戸)神鋼本社	0	1			
(尼崎)尼崎FC	5		PK 5-4		
(神戸)神戸税関	2	0			
(東播)明石北クラブ	3	1			
(神戸)双和クラブ				0	

【Cブロック】

(西播)広畑クラブ	3				
(神戸)赤塚山クラブ	1	4			
(尼崎)サントアンドレ	2		PK 4-3		
(明石)富士通明石	1	7			
(神戸)神戸ビートルズFC(A)	4			3	
(神戸)甲山クラブ			PK 4-2		
(淡路)松本石油由良クラブ	1	0			

【Dブロック】

(北摂)三菱電機伊丹	2				
(神戸)神戸FCユース	PK 6-5	PK ②			
(東播)旭硝子高砂	⑤		PK 4-2		
(神戸)六甲ヒルケル	2			1	
(西播)香寺クラブ	1	0			
(尼崎)竹谷クラブ				3	

〈ベスト4決定戦〉

三木FC	5-1	双和クラブ
竹谷クラブ	3-0	アトアンドレ
川重発本	2-1	神戸アースナルFC
神戸ビートルズFC(A)	5-0	旭硝子高砂

〈決勝トーナメント〉

▶準決勝

三木FC	3 (⑦-②)	2	竹谷クラブ
神戸ビートルズFC(A)	2 (①-②)	0	川重発本

▶3位決定戦

竹谷クラブ	2 (②-③)	1	川重発本
-------	---------	---	------

▶決勝

三木クラブ	2 (①-②)	1	神戸ビートルズFC(A)
-------	---------	---	--------------

これは、日本サッカー界の憲法です。
何かと参考にして、協会運営がスムーズ
に行われますようご協力下さい。

財団法人 日本サッカー協会寄付行為

第7章 会 議 (理事会の定足数等)

第27条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の者が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。

2. 理事会の議事は、この寄付行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3. 監事及び各専門委員会の委員長は、理事会に出席して意見を述べることができる。

(評議員会)

第28条 次に掲げる事項については、理事会において予め評議員会の意見を聞かなければならない。

- 一、事業計画及び収支予算についての事項
- 二、事業報告及び収支決算についての事項
- 三、基本財産についての事項
- 四、長期借入金についての事項
- 五、第1号、第3号及び前号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担及び権利の放棄についての事項
- 六、その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの。

2. 理事は、評議員会に出席して意見を述べることができる。

3. その他評議員会には、前2条の規定を準用する。この場合において前2条中「理事会」及び「理事」とあるのは、それぞれ「評議員会」及び「評議員」と読み替えるものとする。

(議事録)

第29条 理事会及び評議員会には、議事録を作成し、議長及び出席者の代表2名以上が署名押印の上、これを保存する。

第8章 専門委員会

第30条 この法人の事業遂行のため必要があるときは、理事会の議決に基づき、専門委員会を置くことができる。

2. 前項の規定による専門委員会の組織及び運営に関する規定は理事会が定める。

第9章 加盟団体

第31条 各都道府県におけるサッカー界を統括し、その普及振興を行い、この法人の趣旨に賛同する団体(以下「都道府県サッカー協会」という)は、理事会及び評議員会の議決を得て、加盟団体となることができる。

(資格喪失)

第32条 都道府県サッカー協会は、次の事由によって加盟団体の資格を喪失する。

- 一、都道府県サッカー協会の解散
- 二、除名

日本サッカーに ルネサンスは起こるか?(18)

枚方FC 近江達

問題は、人間の中身

日本軍首脳部は、将棋の駒をいかに動かすかは考えても、駒の本質を根本から変えて、別の機能を付与して新事態に対処しようとは夢想だにできなかった。

——山本七平——

好意的に見れば、すべて近代化への過渡期現象である。だが何しろ勝てないと肩身の狭い世界だ。「近代サッカー修業中」では、なかなか通してくれないか。

「サッカーの原点は格闘技だ。技術に溺れるなノ精神力を軽視するなノ」

寄ってたかってたかれたり白眼視されたりするものだから、近代サッカー志向組は自信をなくして氣勢が上らず、改革はなかなか進歩派の方にも問題はある。

口やかましく指図することさえ止めればいいのだとか、個人技が向上して新戦法や新システムなどを採用消化しさえすれば欧米的サッカーになる、と考えられているようにみえるけれども、その程度の改良ですむのなら何も苦労はない。長年改善に努力してきたにもかかわらず、いまだに成果が上らない直接の原因は、そうした表層的捕え方や取り組み方しかしてこなかったところにもある。

では近代化の核心とは何か?

アルゼンチンをワールドカップ・ワールドユースで優勝に導いた名監督メノッティは、「フットボールというものは存在しない。フットボールをプレーする人が存在するのだ」と語って話題になったが、全くそのとおりで、何事も問題は「人」である。

つまり、選手、監督、コーチ、オーナー、ファン、関係するすべての人々の内面の近代化こそ、日本サッカーの近代化の核心なのである。



▲選手一人一人が確固たる主体性を持つことが大切である。(第64回天皇杯準決勝、12月30日 神戸中央 読売クラブ対フジタより)

ある。

選手という将棋の駒をいかに動かすか、ではなくて、それぞれの駒がひとり立ちして自ら活動できるように、駒自身の本質を変えていかなければならないのである。

選手一人一人が、良い欧米人選手のように確固たる主体性をもち、完全に自立して活躍できる才覚と能力を身につけて、情熱とアイディアをもって積極的に、しかもうまく連携し合って戦える選手になること。

そして、指導者は、彼ら自身に全権委任してゲームを進行させること。

それが何よりもまっさきに必要である。

それなしでは、いくら欧米の真似をしても、技術や運動量や戦法をいかに改良しても、一時の前進だけで、すぐにまた停滞に陥るだろう。それらは枝葉にすぎないからである。

底辺教育から、選手自立のサッカーへ

教えこみ覚えるだけでは、大きな樹に育つ養分は流れていかない。
——子安美知子——

通常、新制度や新機構に切り替わるときは、ある日突然、お上からお達しがあって、いや応なしに変えさせられるものである。

ほかにこれと言った良い方法がないのかもしれないが、それだと突然いきなりお仕着せに替替えさせられるようなもので、中身はそのままだから、不自然で大人より小なり無理がある。変えさせられた方としては、たいてい本意で当然機能しにくい。

日本サッカーの近代化も例外ではなかった。クラマー・コーチ以来、西欧からの輸入と学習によっていったんは軌道に乗ったかに見えていたけれども、最近では代表チームの停滞のために、「外国の真似なんかやめろ、日本独自のサッカーをやれ」といった攘夷国粋思想や、「ファイト・ファイト」の精神力万能主義、キック・アンド・ラッシュの原点復活などを叫ぶ声はまだゾロ高くなってきている。

もともと改変というものは、上から指令して外側から変えていくよりも、生物の進化のように長年月をかけて徐々に進めていくか、それとも機が熟して下の方から内側からいつとはなしに移り変ってゆくようにするほうが、自然で無理がなく、成功する場合が多い。

だから、近代サッカーへの切り替えもぜひそうすべきである。

最も大切な人の内面の近代化のひとつは、コーチ自身の自己改革である。

「近代サッカーは、指導者が選手を使って試合させる野球型のスポーツではない。選手たちが各自のセンス、意志、アイディアで戦い、ゲームを進めていくものだ」という「主権在選手」を完全に認識して実行し、同時に、それが可能な選手育成を続けていかねばならない。

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



△状況に応じて自らの力的確に判断し、実行できる選手が多く育つことを期待したいものである。(神戸市少年リーグ1部決勝 神戸中央 12月30日 千歳A対多井畑Aより)

教育で近代化は可能

もう一つは、選手の内面の近代化だが、これは現在の第一線の選手教育よりも、これからサッカーを始める子供たちの教育の方に重点をおくべきである。

人間は幼い頃からの教育と環境次第で何とでもなる。共産主義教育はあの不潔怠惰だった中国人を変えたと、われわれも戦後教育によって大きく変った。これが同じ日本人か、と目を疑うことさえ珍しくない。教育の力は恐るべきものがある。

だから、われわれもぜひ子供たちに、それも白紙の幼児の頃から、選手自立、積極的創造の近代サッカーを教えていくべきである。

既成サッカーとの間にいろいろ波風が立つことは充分覚悟してかからねばならない。

そうして育った若い選手はこれまでとタイプが違うために、年長者の多い既成サッカーの中に入っていくと、必ず強い反発を受ける。新旧さまざまな選手の混成はチームのまとまりを悪くする上に、どんなチームでも技術的なサッカーに切り替えた当座は、どうしても一時期強さが低下するので、百年の計を理解できぬ口やかましい人々から当然非難を浴びる。優秀でも使ってもらえないこともあり、個性的であるほどその恐れは大きい。

だが、そこでくじけてはいけぬ。辛抱して努力を続けよう。彼らが大人になって、次の世代に近代サッカーを伝えていけば、そのうちに必らず軌道に乗る。二代目・三代目・つまり初代の選手の子や孫の時代になれば、かなり遅くなって本物になってくるに違いない。

ずい分気の長い話だとあきられるかも知れないけれども、それ以外に良法はなさそうに思う。教育に短気は絶対禁物である。

59年度県体育協会ジュニア強化練習終わる 今後の飛躍に期待

59年度県体育協会ジュニア強化合宿練習会サッカーの部は、県体協と教育委員会の主催で12月25日から27日まで、ポートアイランド球技場、磯上球技場、御影工業高において行われた。今年強化対象チームに指名されたのは、西播高校選抜、県立伊丹北高校、県立伊丹高校、市立赤塚山高校、市立御影工業高校、県立小野高校、県立明石西高校、県立志知高校、神戸フットボールクラブ・ユースと県中学生選抜チームの10チームで、5チームずつ2グループに分けて一次リーグを戦った後、同順位同士の順位決定戦を行った。

その結果、Aグループからは御影工業高が、3勝1分で、小野を押さえて1位となり決勝に進出した。Bグループからは神戸FCが2

勝2分けながら無失点で、決勝に進出した。

▶決勝(12月27日、御影工業高)

神戸FCユース1 { 0-0 } 0 御影工業高

【評】

チャンスはまったく五分五分のゲーム。高校生らしい活動量のある激しい戦いで、好ゲームを展開した。前半、御影工業がハイクロスで神戸FCのゴールをゆさぶったが、守備陣の体を張ったタックルに得点することができなかった。逆に神戸FCはしばしば速攻からチャンスをつかみ、後半20分左サイドからのCKを御影工業GKがハンプル、これを神戸FC川久保が押し込んで決勝点を上げた。

結果は次の通り。

【Aグループ】

順位	チーム名	御	小	中	志	宝
1	御影工		2-1	1-0	7-0	7-0
2	小野	1-2		4-3	3-0	4-0
3	中学選抜	0-1	3-4		1-0	1-0
4	志知	1-1	0-3	0-1		3-0
5	宝塚	0-7	0-4	0-1	0-3	

〈順位決定戦〉

Aグループ1位 Bグループ1位
御影工 1-0 神戸FC

Aグループ3位 Bグループ3位

赤塚山 3-3 中学選

【Bグループ】

順位	チーム名	神	西播	赤	明	北
1	神戸FC		2-0	2-2	0-0	2-0
2	西播選	0-2		1-1	2-0	4-1
3	赤塚山	2-2	1-1		1-2	2-0
4	明石西	0-0	0-2	2-1		2-2
5	伊丹北	0-2	1-4	0-2	2-2	

Aグループ2位 Bグループ2位

小野 1-3 西播選抜

Aグループ4位 Bグループ4位

明石西 4-0 志知

充実のモデルTango

サッカー界の新しいスタンダードなボール

MTS&D official ball and weight molten Selected cow hide Made in Japan

Tango

Official FIFA World Cup design

株式会社 モルテン

広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

明日の栄光を勝ちとれ!

markam®

80年代をリードする サッカーウェア

younger®

サッカーの基本プレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えた「サッカーシューズ“マークカムシリーズ”」

マーカム33 標準小売価格 ¥8,000

MONTBLANC リアル・スポーツの追求 モンブラン株式会社 神戸・東京・福岡